

平成26年度一橋大学法科大学院入学者選抜試験

小論文

・解答上の注意

1. 問題文は8枚、解答用紙は1枚（表・裏）、下書き用紙は1枚です。
2. 解答用紙に、一橋大学の受験番号を記入してください。氏名は絶対に記入しないでください。
3. 解答は横書きにしてください。
4. 解答用紙は、受験番号を記入する面が表になります。問1を表に、問2を裏に解答してください。解答用紙は、白紙である場合も含め、すべて提出してください。
5. 解答用紙の追加、交換はしません。
6. 解答用紙の余白は採点者が使用するので、誤字脱字の訂正のほかは使わないでください。
7. 問題の内容についての質問には、応じません。
8. 試験終了後、問題文と下書き用紙は、持ち帰ってください。

問題

[問題文]を読んで、次の問いに答えなさい。

問1 下線部の「撤退」及び「過剰」という言葉を筆者はどのような意味で用いているか、説明しなさい。(句読点も1字と数え、800字以内とする。)

問2 多文化主義について、筆者の考え方を踏まえつつ、自らの考えを述べなさい。(句読点も1字と数え、1,000字以内とする。)

[問題文]

(この問題は著作権の関係により、文章の出典と引用箇所のみを表示します。)

【ジグムント・バウマン(奥井智之訳)『コミュニティ——安全と自由の戦場』(筑摩書房、2008年)P170～P185:「多文化の共生か、人間性の共有か」。原文の一部を省略し、表記を変更した箇所がある。】